

9/2(土)～9/28(木)の行事

報道発表資料の配付日時 9月1日(金)15時00分

発表項目 (行事名)	ネイパル防災A・P(アクティブ・プログラム)展について		
記者レクのお知らせ	(実施日時) 月 日 () 時～	発表者	
		発表場所	
概要	<p>防災A・P月間の取組として、ネイパルで提供している「ネイパル防災A・P(アクティブ・プログラム)」の概要や主催事業等についてのパネル展示をとおして、本プログラムの普及を図るとともに、道民の防災教育への興味・関心を高めるため、「ネイパル防災A・P展」を次のとおり開催します。</p> <p>1 期間 令和5年(2023年)9月2日(土)～9月28日(木)</p> <p>2 場所 北海道立道民活動センター9階「まなびの広場」(かでの2・7)</p> <p>3 対象 どなたでも</p> <p>4 内容 パネル展示</p>		
参考	<ul style="list-style-type: none"> ● 別添 ・ 令和5年度ネイパル防災A・P展開催要項 ・ 【参考】ネイパル防災アクティブ・プログラム(防災A・P)実施要項 ● ホームページ <p>https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/bousai-a-p.html</p>		
報道(取材)に当たってのお願い			
担当 (連絡先)	<p>教育庁生涯学習推進局社会教育課社会教育施設係(担当:芳村桐子課長補佐)</p> <p>TEL ダイヤルイン 011-204-5743(内線35-505)</p> <p>TEL 公用スマホ 011-585-6103(内線34465)</p>		

令和5年度ネイパル防災A・P展開催要項

1 ねらい

道立青少年体験活動支援施設ネイパルで提供している「ネイパル防災A・P（アクティブ・プログラム）」に関連する主催事業などの紹介を通じて、本プログラムの普及や防災意識の向上に資する。

2 主 催

北海道教育委員会

3 対 象

道民（どなたでも）

4 場 所

北海道立道民活動センター（かでの2・7）9階「まなびの広場」
（札幌市中央区北2条西7丁目）

5 期 間

令和5年（2023年）9月2日（土）～9月28日（木）

6 内容・方法

- ・「ネイパル防災A・P」のプログラム関連資料や主催事業のチラシなどをパネル展示する。
- ・社会教育課 YouTube チャンネルでPRする。

7 展示場所

「まなびの広場」ビデオレファレンスコーナー前（入り口から左手）



ネイパル防災アクティブ・プログラム（防災A・P）実施要項

～アクティブに学び、アクティブに活かす～

（令和5年6月一部改正）

1 ねらい

ネイパルのポテンシャルを活かした防災教育に関する体験的なプログラムの提供を通じて、能動的に防災に対応できる人材を育成し、地域全体の防災力の向上を図る。

2 場 所

北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル（全道6施設）及びその周辺

3 対 象

児童生徒、企業・団体等の関係者、地域住民等

4 内 容

各ネイパルにおいて、自治体や関係機関・団体等と適切に連携しながら、次の（1）～（3）に関するプログラムを企画・実施する。

（1）災害を理解する

災害の特徴や発生のメカニズム、地域の自然環境など、防災に関する基本的なことについて理解を深める。

（2）自分の命を守る【自助】

災害発生時に主体的で安全に行動できるスキルや態度を身に付ける。

（3）誰かの役に立つ【共助】

避難所開設前の避難者を助けるとともに、開設後の運営を補助するスキルや態度を身に付ける。

5 プログラムの構成

（1）共通プログラム（全ネイパルで提供するプログラム）

No.	活動のテーマ	期待できる効果
①	災害のメカニズムや特色を知る	災害や防災について知り、興味・関心をもつ
②	身を守る術を知る	安全な避難方法や寒さと空腹をしのぐ方法を身に付ける
③	避難所の設営方法を知る	設営を支援する実践力を身に付ける
④	快適さと安心を得る術を知る	避難所で貢献する実践力を身に付ける
⑤	避難所生活を体感する	避難所のより良い運営方法について考えを深める

（2）選択プログラム（各ネイパルが提供する地域の特性に応じたプログラム）

No.	活動のテーマ	期待できる効果
⑥	地域の防災・減災の対策を知る	災害や防災に関する知識や実践力を身に付ける
【ネイパル砂川】	砂川市の市街地や遊水地を巡り、河川氾濫の実態と洪水対策を学ぶ	
【ネイパル深川】	雪の多い地域の災害の実態を知り、雪崩や落雪等での救助方法を学ぶ	
【ネイパル 森】	駒ヶ岳や森町市街地等を巡り、火山や津波の災害と防災対策を学ぶ	
【ネイパル北見】	津波や洪水などの災害の特性を知り、海や川での救助方法を学ぶ	
【ネイパル足寄】	足寄町市街地を巡り、地域の災害の特性と防災対策を学ぶ	
【ネイパル厚岸】	地震や津波のメカニズムを知り、厚岸町の防災や減災の対策を学ぶ	

6 実施方法

対象や実施主体の目的等に応じ、(1)～(3)において、複数または単独のプログラムを効果的に実施する。実施日程は、1時間から1泊2日程度とする。

(1) 受入事業

学校や団体等の受入事業において、全日程もしくは部分的に、共通プログラムや選択プログラムを提供する。

(2) 主催事業

主催事業として、防災をテーマとしたプログラムを組んで実施する。

(3) アウトリーチ

学校や団体等の要請に応じて、共通プログラムや選択プログラムを提供する。

7 費用

(1) 受益者の負担

プログラム体験の実費（実施場所までの移動手段、消耗品等）や、宿泊や食事などの費用

(2) 提供者の負担（連携機関等による負担、教材等の提供を除く。）

普及・啓発に必要な印刷費や旅費等の経費、プログラム開発に係る諸経費

8 その他

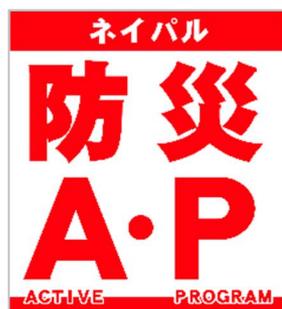
(1) 取組の普及・啓発

ア 毎年9月を「防災A・P月間」と設定し、本プログラムの普及・啓発に努めるとともに、可能な限り本月間に合わせ主催事業を実施する。

イ 6施設共通のチラシを作成し関係機関等へ周知するとともに、館内掲示やホームページ掲載等により普及・啓発する。

ウ 各施設の共通プログラムと選択プログラムを紹介する「プログラム集」を作成する。

エ 主催事業の開催要項やチラシ等には、次のロゴマークを用いる。



(2) 「1日防災学校」との連携

道立高校、市町村立学校（札幌市を除く）等は、ネイパルで実施する本プログラムを「1日防災学校」の取組として取り入れることができるため、それぞれの学校のニーズに応じたプログラムが提供できるよう支援する。